

# 校長通信

## ほほえみを大切に！

7月13日(火)の礼拝では、井上牧師先生から聖書の「平和を実現する人々は、幸いである。その人たちは神の子と呼ばれる。」についてお話がありました。マザーテレサの「微笑みなさい。微笑みから平和が始まる」の言葉を紹介し微笑みの大切さをお話になりました。

その後、全校集会では校長から「野球応援は授業の一部。注目されている本校は、応援も全て注目されている。野球場は野球をする人と応援をする人の舞台。だから皆さん1人ひとりが主役です。強いチームの学校は、応援も最高です。」と話があった。

## インターハイに向け

### ・・・柔道部・・・壮行式

7月13日(火)柔道部の壮行式が行われました。

8月8日からの沖縄県で開かれるインターハイに向け、「家族や応援してくれる人たちの心を胸に、青春の1ページにふさわしい試合を思う存分に戦い、ひとまわりもふたまわりも強く立派になって帰ってきてください。」と激励の言葉がありました。

## 部活動の記録

### 夏の高校野球・準優勝

・・・この経験を次のステップに！・・・

7月26日(月)夏の高校野球県大会決勝が行なわれ、盛岡大学附属高校は惜しくも敗れ、甲子園出場はなりませんでしたが、みごと準優勝に輝きました。昨年のベスト4から前進です。今年のチームは、今春の選抜大会に出場し、春夏連続出場を目指していました。夏の甲子園出場はなりませんでしたが、りっぱな試合をしてくれた部員諸君と献身的に応援して下さった保護者の皆様方、そして応援して下さったすべての皆さんに感謝いたします。

高校野球も、全ての部活動と同様に、人間としての成長の場です。敗者ほど学ぶ事が多く、君たちは学ぶ力を持っています。多くの事を学んで「負けはしたが、さすがモリフは違う」と言われるように期待します。

盛岡大学の学長が連日、スコアブックを付けながら観戦していました。「夢を見させてくれて有難う。」と選手の諸君を称える言葉を頂きました。

応援団の皆さん、吹奏楽部の皆さん！全試合に応援してくれて、本当にご苦労様でした。

#### ○野球の試合結果

1回戦	本校	1-0	岩手
2回戦	本校	7-0 (7C)	一関修紅
3回戦	本校	6-1	釜石
4回戦	本校	7-1	久慈工業
準々決勝	本校	5-1	専大北上
準決勝	本校	7-0 (8C)	盛岡第四
決勝	本校	2-8	一関学院

#### ○陸上 (7月9日～11日) 県民体

10名が出場、1・2年生が多く次回が楽しみ。

#### ○ボート (7月4日) 県民体 クォドルプル4位

○高校合唱際 (7月6日一関市) 12名参加、講師の3名全員から、見事と賞賛された。

○吹奏楽部 全日本高校吹奏楽コンクール 盛岡地区大会高校小編成の部 銀賞

#### ○種目別バドミントン選手権 (7月2日～4日)

男子ダブルス 2回戦 瀧沢 大久保 2-0 一関一

〃 千葉 高橋 0-2 前沢

3回戦 瀧沢 大久保 2-1 一関修紅

4回戦 〃 1-2 花北青雲

男子シングルス 1回線 藤平 1-2 水沢商

女子ダブルス 1回戦 佐々木 日澤 0-2 一関一

## 7月16日 終業礼拝、終業式

終業礼拝では、牧師の井上先生から「私達の心の中にも光と闇があります。誰でも光の部分がある事。また闇から救い出すために神様がいます。」とお話がありました。終業式では、校長から「夏季休業中やってほしい事がある。自分は何をしたいのか、どこに向かって進もうとしているのか、つまり自分の地図をできるところまでつくって欲しい。そうすれば、自分の意志で勉強したり学校生活ができ、自分のやり方で進めて行ける。」と式辞がありました。そのあと、生徒指導の澤田先生から、他校の野球部員の保護者が最近応援中に亡くなられたことを例に、親や家族の手伝いをし、また事件事故に巻き込まれないよう過ごして欲しいと、話がありました。

## 7月17日～8月31日 工事本格化

校舎の耐震・改修工事が本格的に始まりました。この期間校舎内は使えません(体育館は使えます)。そのため、職員室・事務室等は特進棟に移しましたのでお知らせします。(期間は7月17日～8月31日)

